

## 今週（6月19日から6月23日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、積み期序盤ではあるものの、ビッドサイドの資金調達意欲が弱く、低レートでの取引が中心となった。レート水準は、週初から日を迫る毎に低下する展開となる中、大手行から▲0.08%近辺で調達意欲が示された事が下支えとなり、週後半にはレートの低下に落ち着きが見られた。23日は、週末となったものの大きな変化は無く、落ち着いた取引となった。

ターム物に関しても弱めの地合いが続く中、月内エンドのショートタームを中心に引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、週初544兆円程度から始まり、20日に国債の大量償還・利払いを受け552兆円程度まで増加し、その後は550～552兆円程度で推移した。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね▲0.09～▲0.08%程度での推移となった。

SCIは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、1Y物の入札結果を受けて、1Yゾーンが軟調に推移した。

入札に関しては、19日に1Y物の入札が実施され、按分落札利回り▲0.1284%、平均落札利回り▲0.1294%と無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.145～▲0.135%での出会いが見られるなど、しっかりと推移した。23日には3M物の入札が実施され、按分落札利回り▲0.1142%、平均落札利回り▲0.1315%と、弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、落ち着いた展開となった。

短国買入オペは、21日に前回と同額の1,000億円でオフアールされ、按分利回較差+0.016%、平均利回較差+0.016%と、やや弱めの結果となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は、石油・医薬品・卸売など複数業態で大型発行が行われ、週間の金額ベースでは、発行が8,000億円程度、償還が4,500億円程度と、賞与等の夏季資金ニーズからか、発行超のマーケットとなった。

市場発行残高は、22日時点で26兆5,000億円程度となり、6月に入り1兆円程度の増加となっている。

発行レートについて、日銀適格担保銘柄の3M以内の案件では、概ね0%近辺での出会いが中心となった。一方で、4M以上の案件については、引き続き政策変更への警戒感からか買いが入りにくく、レート水準にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/19 (月)	33,370.42	0.390	141.94	△ 0.064	△ 0.091	5,447,600
6/20 (火)	33,388.91	0.385	142.18	△ 0.069	△ 0.091	5,519,500
6/21 (水)	33,575.14	0.370	141.60	△ 0.072	△ 0.091	5,509,600
6/22 (木)	33,264.88	0.370	141.88	△ 0.073	△ 0.091	5,520,000
6/23 (金)	32,781.54	0.365	143.08	△ 0.074	△ 0.087	5,502,100

# 来週（6月26日から6月30日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/26 (月)	決定会合における主な意見(6月15・16日分 8:50) 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		
6/27 (火)	1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)	20Y 12,000億円 6/28発行	5月の米耐久財新規受注 4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 5月の米新築一戸建て販売件数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/28 (水)			
6/29 (木)	5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)	2Y 29,000億円 7/3発行	1-3月期の米GDP確報値
6/30 (金)	5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 63,000億円 7/3発行	5月の米個人所得・消費支出 6月のシカゴPM景況感指数 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値 1-3月期の英GDP確報値

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/26 (月)	▲ 100	9,000	8,900	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		16,800	47,900	56,800	TB3M発行▲63,000償還63,000
6/27 (火)	▲ 1,000	5,000	4,000		31,500		0	4,000	
6/28 (水)	▲ 500	▲ 12,000	▲ 12,500		▲ 300		0	▲ 12,500	20Y発行▲12,000
6/29 (木)	▲ 1,000	8,000	7,000		▲ 100		0	7,000	
6/30 (金)	▲ 500	7,300	6,800	CP買入 新型コロナオペ	▲ 51,900	4,000	▲ 47,900	▲ 41,100	地方譲与税譲与金
週間合計	▲ 3,100	17,300	14,200	—	▲ 20,800	20,800	0	14,200	

6/26は日銀予想、6/27以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、足許の動向を考慮すると、引き続き弱めの地合いが継続するものと予想される。債券レポ GC T/N物は、期末、期初の取引を含むため、ワイドレンジでの取引も予想される。短国市場は、30日に3M物の入札実施が予定されている。また、27日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、27日にCP等買入オペが4,000億円で予定されており、レート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では、30日に5月の労働力調査(完全失業率)、5月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、6月の都区部消費者物価指数、海外では、27日に5月の米新築一戸建て販売件数、29日に1-3月期の米GDP確報値、30日に5月の米個人所得・消費支出(PCE)、6月のユーロ圏消費者物価指数速報値、1-3月期の英GDP確報値などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入